

# みなさまどうぞよろしく



## 京都市域第1グループ

ガバナー補佐 公文 俊一 (京都北東RC)

私がクラブを退会しようと思った時、ロータリーの友情でとどまり、ロータリー財団の地区委員をさせて頂き、遅まきながら奉仕の有り難さを知りました。

奉仕の精神は人間同士が深い信頼、友情に結ばれた時、初めて花開くものです。奉仕ということをしてロータリーから取り除くとロータリーではなくなり単なる奉仕団体になります。社会の仕組みが経済の構造が大きく変わりました。しかし、最も変わったのは人の心ではないでしょうか。他人を思いやる心が失われつつあります。

思いやりというのは相手の立場に自分と置き換えて考えてみる。それは心をつかち合うことだと思います。人間は人と人との間で生かされて生きている。全ては心の持ち方、心の姿勢、共に慈しみ、反省し合い、助け合って、ロータリーを歩んでいきたいと考えております。我々ロータリアンがロータリアンになったからには、にこにこして友情を楽しみ、クラブにあった奉仕をしてロータリーの喜びをつかち合っているではありませんか。

(京都、京都西、京都西南、京都西北、京都洛中、京都洛西、京都市中、京都桂川、京都嵯峨野、京都モーニング、京都平安、京都さくら)



## 京都市域第2グループ

ガバナー補佐 今西 信裕 (京都市南RC)

ガバナー補佐の役割は年々重要になり、ガバナーよりの委託・代行業務が増え、ガバナー方針をクラブへ伝え、その実施を見守る、本当の意味でのパイプ役を与えられている。何か疑問点や問題点があれば、気軽にガバナー補佐へ声をかけて欲しい。

当地区では、93%のクラブがCLP体制をとっている。本年度、四大奉仕の復活、特に職業奉仕の見直しが行われているが、ロータリーの心の部分は常に不変である。CLPは本来、組織システム面での効率化、

選択と集中、継続性を強化し、より奉仕の結果を出す為のもので、奉仕を通じ地域住民のロータリーへの関心を高め、CLPの良さを理解し、クラブ発展とロータリーの広報に結びつけたい。一方、奉仕を会員が一体となって実行する為、会員の親睦は重要である。ロータリーを全員でエンジョイする事、奉仕の感動を心の起爆剤として、大いにロータリー活動を前進させよう。クラブとの絆をおもいやりの心で接するよう努めます。

(京都市南、京都市東、京都市北、京都市山科、京都市伏見、京都市洛北、京都市紫野、京都市洛南、京都市洛東、京都市北東、京都市紫竹、京都市朱雀)



## 京都北部

ガバナー補佐 高倉 信正 (綾部RC)

京都府北部は全般的な人口減少に見舞われている地域であり、各RCも会員の減少に歯止めがかからず、7クラブすべてが会員減となっております。最高ピークに50~80名であった会員数が20~40%

の減少率となり、クラブの運営にも支障をきたしておりまして、地区運営に協力する為の要員の派遣もままならない状況となっております。その為、今迄の地区委員が5年10年と出向せざるを得ません。このままではRCの活性化、即ち地域へのサービスも出来ず結果として会員の入

会希望者がなくなると思われます。又、RCの拡大は勿論のこと、会員の諸研修に対する出席率の低下となり如何かと感じております。

今補佐としての各RCに対するお手伝いはCLPの理解を会員全員に知っていただく努力とその有効な利用方法を皆様と共に考えてゆく必要があると思っております。

(福知山、舞鶴、綾部、宮津、峰山、舞鶴東、福知山西南)



## 京都南部

ガバナー補佐 内藤 雅夫 (京都乙訓RC)

ガバナー補佐を拝命して3年目、まず感謝すべきは数多くのお会い、素晴らしい数々の奉仕活動を見聞し、それらから無尽の教えを受けたことである。と同時に、自身の力不足をも痛感した。私の担

当地域は、会員数こそ少ないが、気力に満ち、奉仕に対する心構えは素晴らしい、地域住民との協力度は頗る良好で、音楽を通じてのふれ合い、身障者への思いやり・助け合い運動、自然環境保存への取組みは勿論の事、ポリオ撲滅募金活動への理解・協力、青少年育成や友好国との青年

招聘まで、巾広い奉仕活動に懸命である。益々の発展を願うや切なり。更なる努力で、会員増強を目指して必死である。今一つ、直前ガバナーの御努力と、京都国際会館の御理解・御協力で会館前広場近くに、ポール・ハリス月桂樹四世の植樹が成功したことである。今から72年前にポール・ハリス夫妻が上洛されたことと、2006~07年度地区大会開催を記念して植樹したものである。願わくばこの月桂樹四世の生長と同じく、ロータリー活動の更なる継続・発展を期するものである。

(宇治、京都乙訓、亀岡、京都市城陽、京都八幡、京都西山、園部、亀岡中央、京都市山城、宇治鳳凰、京都田辺)



## 奈良県第1グループ

ガバナー補佐 松岡 泰夫 (奈良RC)

「ロータリーは分かち合いの心」—「R・I」  
「思いやり」—「地区」

このテーマのもと、今年のロータリー活動は展開されます。

ロータリーの奉仕事業は国際的な奉仕と、クラブが所在する地域を中心とした奉仕事業に分類されます。国際奉仕事業は、「R・I」「地区」が主導し、クラブが協力する活動が中心になります。

しかし地域奉仕事業はそれぞれのクラブが地域の状況に合わせて独自の活動が必要です。

地域の要望に合った事業の展開は、ロータリーの評価を上げます。地元より信頼され、期待されるロータリーとなるようクラブ会長さんを中心に地域のニーズに合った事業を展開し、継続事業を見直し、新しい時代に応じた事業を進められます事を望みます。

地域でのロータリーに対する評価・信頼の増大はロータリー活動をスムーズにし、会員増強・クラブ拡大の大きな原動力になると考えます。

(奈良、大和郡山、奈良西、生駒、奈良大宮、平城京、奈良東)

奈良県第2グループ



ガバナー補佐 **村島 靖一郎** (大和高田RC)

昨年はCLP採用の初年度を立派に果たされ嬉しく誇らしく思った。感動の得られる奉仕活動ならば継続されるよう願っている。

さて、今年度のRI会長も地区のガバナーも同じ思いのことを言っておられる。要は「愛」と「親切心」・心のこもった奉仕活動をするようにと言っておられるのである。

四大奉仕の重要性を強調され、就中職業奉仕こそはロータリー独自のものであり、最も重要と強調されている。誠意と公平さと正当性の倫理

的水準を高める事を目指し、全ゆる機会を捉えて率先せよと解釈している。

そして、RIの奉仕の対象としては、前年度の水保全をはじめ4つのテーマをその尽継続して取組むように指示されている。

亦、ガバナーの根本姿勢は前年度より全ての活動に於て一層の成長を計るよう希望され、個々のクラブに於ても財団・米山は勿論、会員一名純増達成も必須条件とされている。

今年度も地区とクラブのパイプ役として努力してゆきたい。

(橿原、五條、大和高田、桜井、王寺、あすか)

滋賀県第1グループ



ガバナー補佐 **松村 憲一** (大津東RC)

どのように責務を果たせばいいのだろうと、不安な気持ちの1年目が終わると、人の常なのでしょうが馴れてきたような思いがいたします。

2年目は心を引き締め、Rotary Shares というテーマ、そして橋本ガバナーの「おもいやり」を推進してゆきたいと思っております。ことに、新しい手続き要覧が出るまで、知り得たロータリーの知識・情報を積極的に Share 出来るように努めていく所存です。気になるCLPですが、今年度は国内でも多くが採用します。こうし

た中で、クラブが地域社会の中で齟齬のないように運営できる形に持って行って頂くという基本的なところで、まだとまどいがあるように見受けられます。ガバナー事務所と連携してクラブの理解を徹底出来るように微力を果たしたいという希望を持っております。

(大津、水口、草津、大津西、大津東、高島、栗東、大津中央、湖南、大津唐橋)

滋賀県第2グループ



ガバナー補佐 **勝見 秀憲** (守山RC)

地区の存在理由は「国際ロータリーと地区内各クラブの中核的持ちである」と言われる。確かに国際ロータリーが発信した情報は、各地区に流され、そこから地区内クラブへ伝達される。又その逆もある。

私は琵琶湖大橋東畔の神主勝見秀憲でございますから「神さまと氏子崇敬者の執り持ちは神主の役割」であります。それをロータリーに当てはめると、地区の役割は神主の名か執り持ちと同じことになる。

『明るく清らかで素直に正しい道が神道(かんながらのみち)である』と日本民族は太古より継承してきた。橋本ガバナーのテーマ『おもいやり』の基盤として、先ず神道の心が絶対条件となると思われます。

(長浜、彦根、近江八幡、東近江、守山、長浜東、彦根南、五箇荘能登川、野洲、びわ湖八幡、滋賀湖北、八日市南)

福井県第1グループ



ガバナー補佐 **松原 六郎** (福井フェニックスRC)

ガバナー補佐として、3年目となりました。橋本新ガバナーのもと、改めてガバナー補佐の命を受けたことは大変光栄なことであり、同時にその責務の重さに身の引き締まる思いであります。はなから、

役不足の小生ではありますが、どうかご指導、ご鞭撻をよろしく申し上げます。

橋本新ガバナーは先日の地区協議会で、地区のテーマとして、「おもいやり」の心を掲げられました。また、RIが、職業奉仕の重要性を見

直す傾向にあることを報告されました。

これは、2007—08年度の活動の大きな道しるべとなるものと感じています。

私は、橋本年度を、ロータリー活動として、また個人的にも、職業人としての倫理を再点検し、そのことを通して、「おもいやり」の心を磨く1年にしたいと思っています。また、そのようなことに重点をおきながら、クラブのお手伝いをしたいと思っています。

(福井、福井北、勝山、大野、福井南、三国、福井東、丸岡、福井西、福井フェニックス、福井あじさい、福井水仙)

福井県第2グループ



ガバナー補佐 **刀根 莊兵衛** (敦賀RC)

平澤興バスタガバナーは我々に数々の言葉を残しておられます。その中に次のような一文があります。「ロータリークラブの例会の中で会員が、お互いに

拝みあう心とは、感謝 尊敬 謙虚 の意味で、世の中を生きる上で大切な徳性です。ロータリークラブの例会は怨の心と拝みあう心を身につけるために最も優れた場なのです。」

これはロータリアンとしてのあるべき姿であり、ロータリーライフを

通じてしっかりと身につけなければならない心であると受け止めております。橋本ガバナーはその平澤バスタガバナーの薫陶を受けられたガバナーであり、熱い情熱と「思いやりの心」をもって本年度2650地区の先頭に立って取組んでおられます。その橋本ガバナーの想いを少しでも実現できますように、微力ではありますが、怒と感謝の気持ちで精一杯努力をして参りたいと考えております。

(武生、敦賀、鯖江、若狭、武生府中、鯖江北、敦賀西)